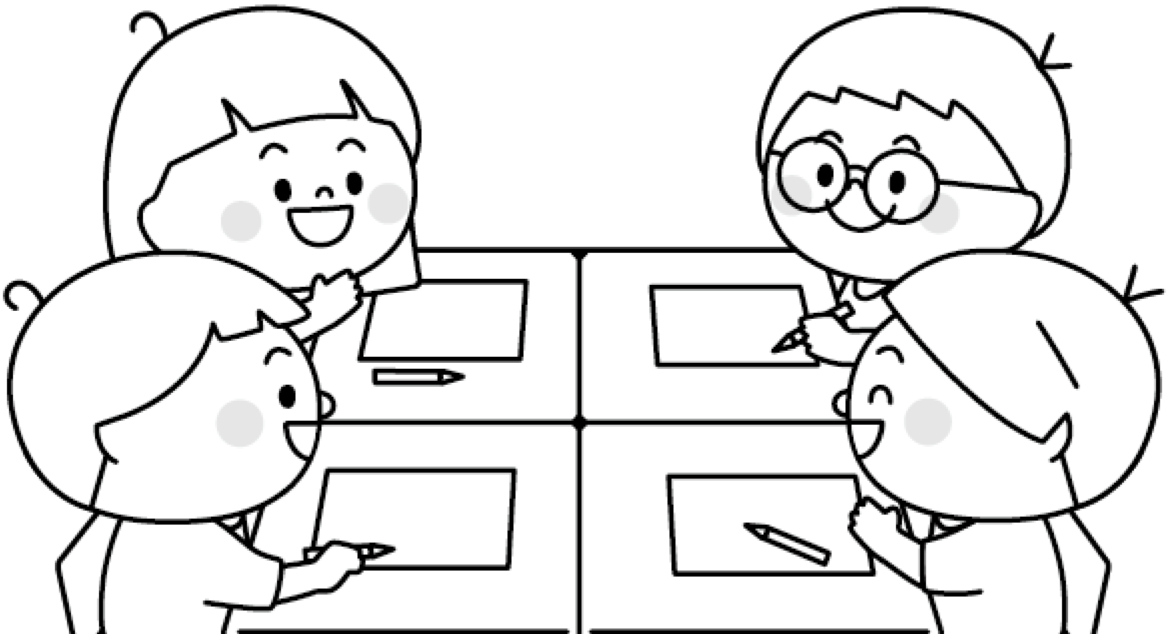
令和６年度

授業改善推進プラン



令和６年９月

台東区立黒門小学校

目　　次

１　学力向上を図るための全体計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ１

２　授業改善推進プラン
各学年具体的な授業改善策　・・・・・Ｐ２～７

1　学力向上を図るための全体計画（令和６年度）

○台東区の教育目標達成のための基本方針（概略）
・人権尊重の精神の育成
・学校教育の充実
・生涯学習の推進
・区民の教育参加の推進　等

○台東区学校教育ビジョン
・新しい時代に対応する資質・能力を育成する
・グローバルな社会で活躍する人材を養成する
・多様なニーズを具現化する教育を展開する
・持続可能な社会を創造する教育を展開する

○学校教育目標
やさしい子　たくましい子　考える子

○学校経営方針
〔学力向上にかかわる要点〕

◇地域に貢献すべき学校であることを自覚し、保護者･地域のニーズは何かを考え、学校教育の可視化を図りながら保護者・地域と関係性を構築していく。

◇「確かな学力」を育成するために、校内研究の研究内容の日常的な実践と検証を積み重ねるとともに、１人１台端末や地域の教育環境を活用して学びの質的向上を図る。

○地域の実態
・歴史と伝統を重んじ、学校教育に主体的に参画するなど協力的である。

○保護者の願い
・コミュニケーション力の向上
・他者への思いやりや尊重する態度の育成
・創造力、思考力、判断力の育成

○期待される児童像
・社会の変化に主体的に対応し、自ら考え、正しく判断し、行動できる心豊かな児童

本校の目指す「確かな学力」のために　　新たな学びの創造

個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指すために、子供に委ねる学習の実践を重ねていく

本物体験として全学年が地域施設・人材、NPO 法人等の教育資源の活用の充実を図り、新たな資源の開発を行う

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	校内における研究や研修の工夫	教育課程上の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○全国学力・学習状況調査及び台東区総合学力調査の結果を分析の上、授業改善推進プランを活用した指導の工夫・改善 ○言語活動を取り入れた授業の実施 ・国語科を中心とした「話す・聞く」「書く」「読む」技能の向上 ○ICT 教育環境を生かした教育活動の推進 ○校内研究との関連 ○個に応じた指導 ・「学力向上推進ティーチャー・エデュケーションアシスタント・教育活動アシスタント・特別支援教育支援員」の活用	○校内研究 ・国語科「WELL-BEING な社会を目指して～学びが変わる！学校が変わる！個別最適な学びを実現する生活科・総合的な学習の時間の授業づくり～」 ・「学びを楽しむ児童」、「他者を尊重する児童」、「思いをもって学び続ける児童」の育成 ・研究授業の取組 ・学力調査、校内の実態調査を活用した、児童の実態把握と研究への活用 ○ＩＣＴ研修の充実	○創意工夫の生かせる弾力的な単元構想 ○時数の確保と余剰時数の有効活用 ○読書活動の推進 ・図書館司書と連携した図書館の整備及び活用 ・「朝読書」と図書ボランティアによる読み聞かせ活動を通した読書活動 ・電子書籍サービス「MottoSokka！」の活用	○学校教育の可視化 ・学校評価の公表 ・学校公開日（６回／年） ○地域環境・人材の活用 ・上野の森を生かした教育活動の系統的、継続的な実施 ・体験的な活動の積極的な実施 ・図書ボランティアと連携した読書習慣定着のための取組の充実 ○家庭学習の充実 ・宿題や家庭学習等に主体的に取り組む態度の育成と家庭への啓発

令和６・７年度　台東区教育委員会研究協力学校

令和６年度　第１学年　授業改善推進プラン

台東区立黒門小学校

教科	児童の実態をふまえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	・平仮名の言葉や文を正確に読んだり書いたりすること ・促音、拗音、句読点や助詞の「は・を・へ」を正しく使って、自分の思いや考えを書くこと ・行動したことや経験したことについて、事柄の順序を考えて話すこと	・平仮名を正しく読んだり書いたりする力 ・促音、拗音、助詞や句読点を正しく使い、文章を書く力 ・相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づき、事柄の順序を考えて話す力	・言葉集め、言葉遊びの学習やｅライブラリ等を活用した復習、音読、短い文を書くことを通して定着を図る。今後の片仮名や漢字の学習でも、正しく読んだり書いたりすることや文章の中で使うことができるようにする。 ・促音、拗音、助詞や句読点に着目させて書くように促す。また、他教科でも、例文を示して自分の思いや考えを書くことで自分の思いや考えを書くように促す。 ・話す活動の前に、事柄の順序を考える活動を設定する。「どうしてかというと」など理由も伝えられるように話型を取り入れる。
算数	・たし算やひき算の計算が正確にできること ・具体物の操作をしたり、グループで長さを捉える活動をしたりする中で、分かったことや考えたことを伝えること ・数量や図形に親しみをもち、算数で学ぶことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとすること	・たし算、ひき算の計算が正確にする力 ・具体物の操作を通して、長さ、広さ、かさなどの量の比べ方を見いだしたり、表現したりする力 ・数量や図形に親しみをもち、算数で学ぶことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとする力	・朝学習や授業の始めに、繰り返し復習問題に取り組ませたり、「ポケットドリル」を活用したりして計算力の定着を図る。 ・具体物を操作することで、数の表し方やものの大きさ、量の単位の理解につなげる。繰り返し数学的活動を取り入れ、理解を深める。 ・ペアやグループ活動を取り入れ、児童同士の学び合いの時間を積極的に取り入れて適切な数量感覚を身に付けさせる。 ・生活経験と学習内容を結び付けたり、友達の考えと自分の考えを比べて考えたりできるような、学習活動を展開する。

令和６年度　第２学年　授業改善推進プラン

台東区立黒門小学校

教科	児童の実態をふまえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	・文字や言葉の特徴や使い方を身に付け、正しく読んだり書いたりすること ・身近な話題について、事柄の順序を考えて話すこと ・絵本や図鑑だけではなく、文章とじっくり向き合い本のよさを感得すること	・平仮名や片仮名を正しく読んだり書いたりする力 ・第２学年までに配当されている漢字を正しく書き、文や文章の中で使うことができる力 ・長音、拗音、促音、撥音などの表記や句読点の打ち方、助詞の「は」「を」「へ」の使い方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章を書く力 ・自分の思いや考えについて、相手に伝わるように話す力 ・言葉がもつよさを感じ、楽しんで読書をし、言葉をよりよく使おうとする力	・漢字や片仮名の学習で、書き順の確認や字形を意識して書く指導を行う。他教科と連動して、日常的に正しく表記できるよう指導し、習得させる。 ・長音、拗音、促音、撥音や句読点、助詞に着目させて書くように指導する。他教科とも連動し、活動の後や宿題では例文を示して、自分の思いや考えを書く指導を行い、言葉の使い方を習得させていく。 ・ペアやグループでの話合い活動において、自分の好きなことや身近な出来事について話したり書いたりする。
算数	・繰り上がりのたし算、繰り下がりのひき算の計算の力を定着させること ・単位の関係を理解し、適切な単位を用いて表現すること ・言葉や図、式を用いて、自分の考えを分かりやすく説明すること	・たし算やひき算を正確にする力 ・具体物の操作や図から、ものの形や量の感覚を養い、身に付ける力 ・言葉だけでなく、図や式を用いることでより簡潔に分かりやすく表現する力	・朝学習や授業の始め、家庭学習などで、繰り返し復習問題に取り組ませ、計算技能の習熟を図る。 ・具体物を操作することで、数の表し方や量の単位の理解につなげる。具体物操作と問題練習を組み合わせ、理解の定着につなげる。 ・文章を式や図に表す活動を通し、簡潔に表せることのよさを実感できるよう指導する。個人の学習だけでなく、グループ活動も取り入れ、他の考えや友達の考えのよい点に気付かせる。

令和６年度　第３学年　授業改善推進プラン

台東区立黒門小学校

教科	児童の実態をふまえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	・漢字を正しく読んだり書いたり、文章の中で使ったりすること ・筋道の通った文章を書いたり、自分の考えを表現したりすること	・第３学年までに学習する漢字を正しく読んだり書いたりし、文や文章の中で使うことができる力 ・書く内容の中心を明確にし、段落、順序を意識し、適切で分かりやすい言葉を使いながら自分の考えを表現する力	・定期的に小テストを行い、漢字の定着度 90％以上を目指す。また、個別添削をして励まし、意欲をもたせ、字形を意識して正しく書けるよう指導する。 ・文章を友達と読み合いながら校正したり、短いスピーチをして聞き合ったりする活動を普段から取り入れる。
社会	・地図の見方をはじめ、地図記号や身近な地域の様子などの知識の定着 ・調べ学習において、自分の意見と他者の意見とを関連付けること	・観察調査したり、地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめる力 ・調べ学習の仕方を身に付け、調べて分かったことや気付いたことを友達と共有して学びを広げたり深めたりする力	・地図帳、ICT 機器を活用し、適切な資料を見付ける環境を整える。 ・課題に応じて適切な情報を選択できるよう自ら選択するグループ活動での学習を進めるなど、友達やいろいろな人から学ぶ機会を設定する。
算数	・計算技能（加法・減法・九九）が定着しておらず、基本的な計算練習への取組に個人差があること ・自分の考えや計算の仕方に固執してしまったり、学習したことを自分の言葉でまとめたりすること	・四則計算が確実にでき、それらを適切に用いて問題解決ができる力 ・計算の意味や計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見出したりするとともに、それらを活用して計算を工夫したり計算のたしかめをしたりする力 ・自分の考えだけでなく、友達の考えのよい点に気付き、学び合う力	・問題演習を繰り返しさせ、技能の定着を図る。 ・導入場面では課題に関連する身近な生活体験を引き出したり、具体物やＩＣＴ機器を活用したりする。具体物を用いたり体験活動を充実させたりして実感を伴って身に付けられるように指導する。 ・適切な課題設定をするとともに、計算や図形の仕方や概念を説明する活動を丁寧に扱い、簡潔な説明に触れる機会を多く取り入れる。
理科	・観察や実験をするときに着目する事柄や問題を予想する際に活用する知識を身に付けること ・児童同士で思考や気付きを深めたり、広げたりすること	・観察や実験の際に、差異点や共通点を意識して問題を見出し表現する力 ・自分の経験や知識を基に、学習課題に対する予想を立てたり、友達同士で交流することで学び合ったりする力	・観察の仕方や実験器具の使い方などを徹底し、安全に学習を進めることができるよう指導する。 ・学習を自分の生活と関係付けたり、活用のされ方や仕方を考えたりするようにさせる。 ・観察や実験の時間や他者との対話の時間を十分に確保し、実験結果から分かることを考えたり、友達と交流したりすることで学びを深めさせる。

令和６年度　第４学年　授業改善推進プラン

台東区立黒門小学校

教科	児童の実態をふまえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	・正しく読み取り、文章構成や段落の組み立て方などに気を付けて自分の考えを書くこと ・筆者の考えや中心となる語や文を読み取り、文章を要約すること	・正しい文章や伝わりやすい文章構成や段落の組み立て方などに気を付けて、自分の考えを書く力 ・目的を意識して、中心となる語や文を見付ける力（文章を要約する力）	・毎週末の作文指導や、行事の振り返りを書く際に、文章の構成や段落の組み立て方などを指導し、伝わりやすい文章構成を考えさせる。 ・筆者の考えや中心となる語や文にサイドラインを引いたり文章構成図を活用したりし、段落を意識しながら読ませる。
社会	・資料を正しく読み取ること ・学習したことを日常生活につなげること	・調査活動や地図帳などの具体的資料を正しく読み取り、必要な情報をまとめる力 ・主体的に学習の問題を解決しようとする態度や学習したことが日常生活にどう生かせるか考える力	・資料名や項目などを確認させ、読み取ることができる情報を共有する。また、資料に応じて、効果的な活用の仕方、まとめ方を工夫させる。 ・学習内容が日常生活に関わっていることを、教師が具体例を提示しながら紹介し、自分事と捉えさせる。
算数	・問題を正しく捉え、立式したり作図したりして解決すること ・既習の学習内容や生活体験を生かして自分の考えを説明すること	・問題を正しく捉え、立式したり作図したりする力 ・学習内容を活用して課題を解決しようとする力	・計算練習や作図の機会を十分に取り、提示されている条件を図や表などを用いて整理し、立式したり作図したりさせることで計算力・作図力を身に付けさせる。 ・課題に関連する身近な生活体験を想起させたり既習事項を用いて考えたことを友達と交流したりする活動を取り入れ、学習内容を活用して課題を解決するよさに気付かせる。
理科	・既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を立てること	・既習の学習や生活経験を基に、解決の方法を発想したり、根拠のある予想をしたりする力	・予想の根拠を、既習の学習や生活経験を基に説明する活動を取り入れ、自分の考えを明確にさせる。また、予想を基に、グループで解決の方法を話し合う活動を取り入れ、主体的に学ぶ態度を養う。

令和６年度　第５学年　授業改善推進プラン

台東区立黒門小学校

教科	児童の実態をふまえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	・これまで学習した漢字を日常的に正しく書くこと ・説明的文章の内容や段落相互の関係を、叙述を基に捉えること	・第５学年までに学習する漢字を正しく書き、文や文章の中で使うことができる力 ・段落相互の関係に着目しながら、事実と感想、意見などとの関係を、叙述を基に捉える力	・漢字学習の際、書き順や止め、はねなどに着目して正しく書くように指導したり、文や文章の中で使うよう促したりする。 ・事実と感想、意見の違いを提示し、各段落の要点を押さえ、段落の関係を考えるようにする。
社会	・１つの資料から必要な情報を読み取ったり、複数の資料を関連付けて情報の意味を考えたりすること ・学習内容と日常の社会生活を結び付け、課題を見出すこと	・社会生活の具体的資料から必要な情報を読み取り、情報の意味を考える力 ・日常の社会生活や資料などから疑問を考え、課題を見出す力	・具体的な資料や統計資料などから必要な情報を読み取る視点を提示する。また、意図的に複数の資料を提示し、情報の意味を考えるように促す。 ・学習内容と日常の社会生活を結び付けて考えることができる資料を提示する。
算数	・問題を正しく捉え、立式したり、計算したり、作図したりして解決すること ・問題に合った答え方をすることが定着できていないこと	・問題を正しく捉える力 ・立式、計算、作図等を正確にする力 ・問題に正対し、過不足なく解答を導き出す力	・文章問題から立式させる際には、図や表などを用いて整理し、立式するように促す。 ・計算練習や作図の機会を十分に取り入れ、必要な際にはコンパスの使い方など再確認し、正しい計算力や作図力を身に付けさせる。 ・文章問題の単位つけ忘れ、単位違い、小数点忘れなどがないか授業の際に確認する時間を設ける。
理科	・領域「生命・地球」について理解すること ・既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を立てること	・物事を関係付けて調べて捉える力 ・既習の学習や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を基に解決の方法を発想し、実験方法を考える力	・実際に触れながら比較したり、映像や模型などを活用したり、動物園などの施設を活用したりするなど複数の学習活動を行う。 ・既習の学習や生活経験を基に予想したことを表現したり、説明したりする活動の充実を図る。

令和６年度　第６学年　授業改善推進プラン

台東区立黒門小学校

教科	児童の実態をふまえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	・目的や意図に応じて集めた材料を分類したり、関連付けたりすること ・資料を活用して自分の考えが伝わるように表現を工夫すること	・目的や意図を応じて日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり、関連付けたりする力 ・考えの根拠となる事例や資料を活用し、自分の考えが伝わるように適切な表現を用いて自分の考えを表現する力。	・接続語や指示語に着目し、文と文の関係に注意しながら正確に文章を読み取り、自分の考えを書く際にも活用するようにさせる。 ・自分の考えをはっきりさせ、根拠となる事例や資料を見付け、書くことを繰り返し指導する。
社会	・資料を基に情報を整理し、考察してまとめること ・地理的特徴の基礎となる知識の定着を図ること	・資料を通して情報を適切に読み取り、社会科的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考察し、まとめる力 ・言葉の意味を正しく理解し、活用する力	・一つの資料から読み取れること、考えられることをペアや小グループで意見交換しながら考えを広げ、深められるようにする。 ・学習課題にあった資料を選別できるようにするために自分の考えを伝える時には根拠となる資料を示すようにさせる。 ・単元ごとにキーワードを示したまとめを書くようにさせる。 ・グループごとに自分たちで発表させる。
算数	・与えられた条件を整理し、図や式、言葉で適切に記述すること ・図や式、言葉で適切に記述したことを基に解決を図ること	・図形を構成する要素に着目し、作図したり、図形の計量について考察したりする力 ・２つの数量の関係を表や式、グラフ等を用いて表し、考える力 ・学習したことを適切に用いて問題を解いたり、自分の考えを説明したりする力	・提示された条件を図や表などを用いて整理し、立式したり作図したりする練習を適宜行う。 ・学習した内容を適切に使って問題を解いたり、友達同士で考えを説明し合ったりする活動を繰り返し行う。
理科	・適切な方法を用いて課題解決を行うこと ・目的に応じて実験器具を適切に使うこと ・学習内容と日常生活の関連を図ること	・予想や仮説を基に解決の方法を考え、実験の条件や方法を考え、主体的に課題を解決する力。 ・実験や観察からより妥当な考えを作り出す力。 ・実験道具を目的に合わせて適切に使う力 ・実験や観察の結果から自然の法則やものの変化の規則性を結び付けて考える力	・実験や観察の結果を記録し、小グループやクラスで意見交換をしながら、法則や規則性につながる考察にまとめるように指導する。 ・苦手な児童には考察の書き出しなど状況に合わせたヒントカードなどを活用する。 ・器具の仕組みや用途を確認させ、実験の目的に合っていることを確認させる。 ・予想、仮説、実験、結果、考察、結論の流れにそって自分の考えをノートに書くことで、学習の流れを定着させ、見通しをもって学習に取り組めるようにする。